

1. おおだ子育てにかかる総合支援拠点施設のあり方

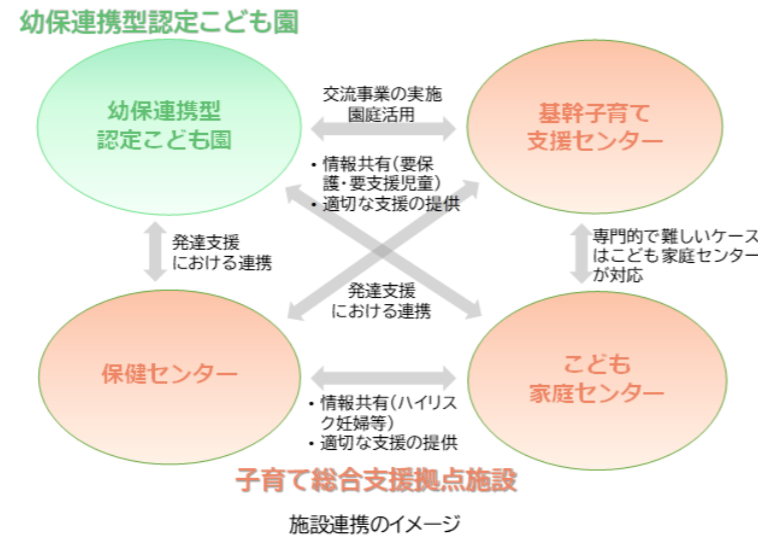
1.1 基本理念

子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち
“おおだ”をめざす拠点づくり

1.2 求められる機能

① 幼保連携型認定こども園

- 幼児教育・保育：園児の発達の連続性を考慮した教育・保育の展開
- 休日保育：保護者が家庭で休日に保育できない場合の保育需要に対応
- 一時預かり事業：一時的に家庭での保育が困難となる場合の保育需要に対応
- 障がい児教育・保育：支援が必要な子どもや家庭に対する支援の中心的役割を担う



② 基幹子育て支援センター(地域子育て支援拠点事業)

- 子育て中の親子の交流の場の提供：気軽に利用できる交流の場の設置等
- 子育て等に関する相談、援助の実施：不安や悩みがある親子に対する相談、援助の実施
- 地域の子育て関連情報の提供：地域の育児や子育てに関する情報を発信する場の提供
- 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施：プレママ・プレパパセミナー、学生等を対象とした子育て教室等の実施

③ こども家庭センター

- 全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援の実施：出産、児童の発育や発達、子育て等についての専門相談等の実施
- 児童虐待等への対応と防止策の強化：児童虐待、女性相談等に関する専門相談
- 多様な家庭環境等に関する支援体制の充実：妊産婦及び児童の保健や福祉に関する支援

④ 保健センター

- 乳幼児健診、教室の実施：乳幼児健診、発達促進のための指導等の実施
- がん検診、各種相談の実施：検診の実施、関係機関と連携した健康相談・支援
- 健康づくり活動の推進：健康づくりに関する教室や、集い活動できる場の提供
- 感染症対策(予防接種等の実施)：感染症等の蔓延対策の実施等



保育室(伊丹市さくら台こども園)



遊戯室(伊丹市さくら台こども園)



子育て広場(渋谷区子育て支援センター)



児童発達支援リハビリ室(上尾市 AGECOCO)

2. 建設予定地

※幼保連携型認定こども園、基幹子育て支援センター、こども家庭センター及び保健センターを総称して「本施設」という。

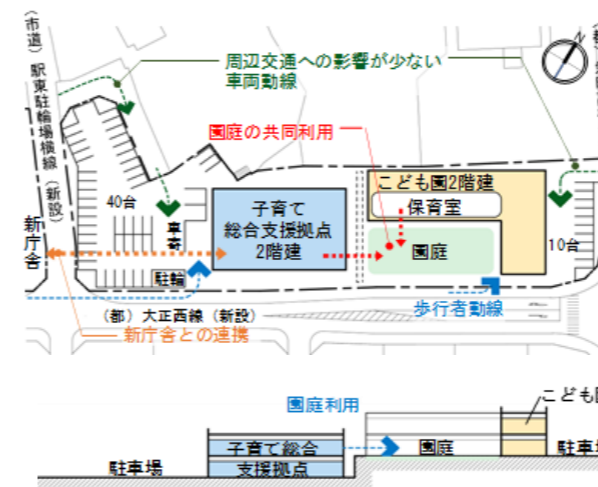
本施設の建設予定地(土地区画整理事業対象エリア内)は、JR大田市駅前に位置し、計画中的の新庁舎の建設予定地に隣接する敷地です。



3. 本施設の規模設定

本施設(幼保連携型認定こども園、基幹子育て支援センター、こども家庭センター及び保健センター)の全体規模は、2階建て、2棟全体で3,300㎡程度とします。

4. 配置計画の基本方針



5. 概算事業費

概算事業費については、直近の他自治体の事例等を参考としつつ、ZEB化のための設備やコロナ禍や社会情勢等を起因とした事業費の高騰を踏まえ、算定を行いました。国庫補助金や過疎対策事業債等を活用し、本市にとって有利な財源確保に努めます。なお、以下は基本計画時点における概算であり、今後の建設物価の動向等により変動する可能性があります。設計段階において再度精査するものとします。

項目	金額(税込)
用地取得費	約1.5億円
設計・工事監理費	約1.0億円
建設工事費	約23.3~24.0億円
外構整備費	約1.0億円
その他(什器・備品費、引越費、地盤調査費)	約2.5億円
合計	約29.3~30.0億円

6. 事業手法の選定

- ・当市に有利な国庫補助金や地方債が活用でき、一般財源の支出を抑えることにつながる
 - ・備える機能が決まっており、設計段階等における民間ノウハウの活用範囲は限定される
 - ・事業規模、整備内容から地元企業での施工が可能であり、従来の手続きで参加できる 等
- 上記を踏まえ、『従来方式(設計・施工分離発注方式)』を基本として実施します。

7. 事業スケジュール

想定事業スケジュールは次に示すとおりであり、令和10年度中の供用開始を目指します。

R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
基本計画	基本設計	実施設計	建築工事	供用開始	

※現在、想定されるスケジュールであり、今後の詳細検討によって変更する可能性があります。